

平成27年6月(2015年)No 594

<ニュース特報>

OMC第2例会・7月の第2火曜の午後に開催

このところ例会も作品数が多く、先月も1本上映しきれず翌月まわしとなりましたが、上映するだけが精一杯で司会からの講評やアドバイス等、やっているヒマがないのが実情です。せっかく力を入れて作られた作品ですから、十分な時間をかけた例会進行をしたいものです。

一方、進藤副会長らの計らいで、勉強会的なこともやろうという話が出てきました。こんなときに大阪ビデオクラブ(OVC)が会員減少に伴い作品発表会も出来ない状態となってきましたので、わがOMCと合併する話が出てきました。OVC会員とOMC会員とが重複して入会している人が9名おられ、OVCだけの会員は7名(8名のところ1名死亡)しか居られないので、希望者はOMCに入会して頂くことにして、OVCが今まで例会日としていた第2火曜13時からの例会は「OMC第2例会」として新発足することにしました。7月から実施します。

第2例会では、一般作品の上映と、テーマを設けて勉強会的なものも企画いたします。一般作品は時間が充分に取れますので、作品に対する助言や感想などの充実した司会進行が出来ます。第4土曜の例会作品のうち、特に皆さんの声が聞きたい、アドバイスが欲しいという作品は、第2例会の方へ持参してほしい。そして夜の例会は12本程度に抑えられれば、落ちついた例会運営が出来るものと考えております。

一方、高齢化が進み、夜外出するより昼間の方が良いという方も増えてくるでしょうし、女性の方も昼間なら出られると新規入会の期待感もあります。課題としては、昼間の会場確保が必ずしも第4研修室がくじ運次第で確保できず、その都度、別の部屋に変わる可能性が高い、ということですが、どこかの部屋は確保できましょう。7月からの第2例会がうまく行きますよう期待すると共に、多くの会員諸氏の出席をお待ちしています。第2例会の経費は当分(3年位か)OVCの繰越金の中より処理しますので、特に会費はいりません。夜も昼も両方へ出席されるのも自由です。

8月以降は第3木曜日の開催となります。

6月例会のお知らせ

撮影会審査は当日午後に行われますので6月例会は第4土曜27日の午後1時からと、例会6時からの二本立ての開催になります。場所はどちらも難波市民学習センターです。暑くなりましたが会場は涼しいですよ。

■新入会者紹介

OVC→OMC

1. 植村朝一さん 〒574-0023 大東市南新田1-1-15 Tel072-872-3314
2. 柴辻英一さん 〒590-0948 堺市堺区戎之町西1丁1-1 Tel072-232-2275
3. 坪井仁志さん 〒559-0033 大阪市住之江区南港中5-6-22-703 Tel06-6613-2836
4. 西村亀雄さん 〒552-0003 大阪市港区磯路3-14-1 Tel06-6573-3165
5. 井脇 務さん 〒592-0003 高石市東羽衣2-9-35 Tel072-261-7631

5月28日現在、OVCからOMCへの移籍者は以上の5名です。

■那須典彦氏死亡のニュース

このところ例会にお顔を見せられることはありませんでしたが、先日ご家族の方よりお電話があり、2月にお亡くなりになった由。8ミリ時代からの古くからの映像仲間でした。ご冥福をお祈りいたします。

■撮影会作品の審査会に是非ご出席を！

6月27日例会日の午後1時から撮影会作品の無記名投票が行われます。撮影会参加者はもちろん、未参加の会員も出席して公開審査に協力して下さい。

5月例会のレポート

5月の例会は23日の午後6時より第4研修室で開催しました。司会、合原さん、書記、有村さん、デッキ係に井上さん、河合さん、江村さん、受付兼照明係を宮崎さん、森下さん、華岡さん、掲示、紙本さんの担当で進行しました。

◆出席者：赤澤、有村、井上、江藤、江村、岡本、蟹江、紙本、河合、合原、黒田、進藤、関、高瀬、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉村（敬称略）の22人と作品本数15本でしたが、時間切れで江藤作品「ワーゲニンゲンに暮らす友人を訪ねて」が来月上映になり

ました。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村世話役です）

1) 蒲生氏郷大大名となる（BD）

紙本 勝 14分10秒

滋賀県の日野城で生まれた蒲生氏郷は織田信長の人質として岐阜城で生活し、信長に認められて三重県の松阪市の松阪城主に出世します。そして豊臣秀吉に仕えて福島県の会津若松市の城で93万石の大大名にまで上り詰めます。これらの物語を描く為に、紙本さんはそれぞれの城跡を撮影されてこの作品を作られました。編集に14日（約100時間）もかけられたそうで、そのご熱心さに感服します。

2) 錦秋のえいでん（BD）

前田茂夫 9分24秒

京阪電鉄グループの叡山鉄道に乗って見事な紅葉が車窓から映ります。BGMは音楽編集ソフトMIDIを使って前田さんの独奏です。紅葉越しに走る電車の姿があちこちで見られます。そして電車は出町柳を出て終点の鞍馬駅に着きます。再び引き返し梶取社という神社などが出て終わります。終点で終わりにしたら、と言うご意見がありました。引き返し後の風景も前半の中に組み込んで鞍馬で終わる方がすっきりするのではないか、と思いました。

3) 季節は巡る奈良公園（BD）

有村 博 13分28秒

私達のビデオがHDVのハイビジョンになってから約10年が経過しました。その間に撮り貯めた奈良公園の風景を、新緑、初夏、秋季、冬季、春彩に分けて描いてみました。鹿の角切りなど、動的な映像もあつたら、というご意見がありました。今年の10月に16対9の映像で

撮ってみようか、と思っています。

4) 春遠からじ (BD)

江村一郎 6分50秒

兵庫県朝来市和田山町竹田の有名な天空の城、竹田城跡の冬景色から始まります。竹田の町の俯瞰から雪のちらつく町中に入ります。幼い子供の親子連れや通学する小学生など田舎町の風景が続きます。駅の電車が出発するのを待っていた江村さん、その前の古い門の雪だまりが突如崩れ落ちる姿に満足されたのでしょうか。その内だんだんと青空になり題名通りの景色になります。JR播但線の竹田駅には何回も通われたのでしょうか。今や観光で沸くこの町をこんな形で描かれたのですから、お見事という他、ありません。

5) 新野の雪祭の抄 (改作) (BD)

河合源七郎 14分49秒

今年3月の例会で発表された同名作品の改作です。長野県の愛知県境に近い新野(にいの)で2夜3日に亘り行われている大きなお祭です。前回はノンナレ、ノンBGMだったものを詳しくナレーションで解説されて見やすくなりました。全体が夜景でスチル写真のフラッシュは判りますが、照明はどうされたのでしょうか。お聞き出来ませんでした。これでもこの祭のほんの一部だとか、取材のご熱心さに脱帽します。

6) 四ヶ所の村落を訪ねる (BD)

華岡 汪 9分55秒

イラン共和国のほぼ中程にある村落4カ所をツアーに参加されて取材された作品です。特にバラと古いモスクの建物を紹介されていますが、忙しいツアー旅行で良くこれだけの取材が出来るもの、と感心致します。そのせいか中程のナタンズの町でのバラやその他にピントの甘い所があり気になりました。核兵器製造の

有無が取りざたされる国とばかり思っていました。民衆はみんな宗教心も熱く、意外に親日的な人々だったのですね。勉強しました。

7) ビアク島 (BD)

山本正夢 8分30秒

山本さん、今回はインドネシアのニューギニア島にほど近いビアク島に行ってこられました。淡路島の3倍程の島だそうで、珍しい全体の風景の後、70年前の日米戦争の遺品が残されているのが出ます。悲しげな音楽と共に日本の戦車や機関銃、洞窟、砲台、大砲が紹介され、最後に第二次世界大戦慰霊碑が紹介されます。玉砕した日本兵12000人、生還者520人とありました。山本さん、今回は何語を使って行ってこられたのか、気になりますが、何時も珍しい所を紹介して頂き有り難うございます。

8) 春のコンサート (BD)

進藤信男 14分55秒

去る5月10日(日)に兵庫県川西市水明台多田グリーンハイツ、溪のサクラ特設ステージで行われた第4回野外コンサートで、1台固定の2カメラと音声別録りで作られた頼まれビデオの抜粋を見せて頂きました。始めに地元住宅地のグループ”チェリーズ”によるハンドベルの演奏に続きフルート2人の演奏、劇団によるオペラ魔笛のハイライト、そして全員で”どんぐりころころ”を合唱し、最後に会長のご挨拶でお開きになりました。地域の皆さんの楽しい結集を見せて頂きました。

9) 春宵、清水寺 (BD)

森口吉正 7分00秒

櫻が満開の京都清水寺での夜景を、森口さん珍しくノンナレで紹介しておられます。ライトアップの京都タワーが綺麗

でしたね。でも夜の櫻は今一つでしたね。観光地ですからライトの照射も無理でしょうし、お得意の名水探訪の”音羽の滝”の撮影も大変でしたでしょう。

将来、これが4Kか8Kのカメラ映像ならどうなるか、なんて考えてしまいました。ご苦労さまでした。

10) 春の雪五箇山白川郷 (BD)

宮崎紀代子 9分00秒

3月10日と言えばもう春でしょうに、北陸地方ではまだこんなに雪が降っていたのです。朝、大阪を出て昼過ぎまでかかって富山県南砺市五箇山の合掌造りの聚落に到着しました。ここは後の白川郷とともに世界文化遺産に登録された名所で、その一軒の家では昔からの囲炉裏や茅葺き替えの道具や踊りを堪能されて、岐阜県白川郷に向かわれました。ここも大雪が降っていてそれでも寒くはなかったと語っておられます。春が近いからでしょう。心に残る景色でした、と語っておられます。素晴らしい作品でした。

11) 城と桜 (BD)

蟹江利一 8分35秒

櫻が満開の岐阜県大垣市にある大垣城と長良川の側に建つ墨俣一夜城に行っただけで、大垣城の紹介の後、大垣市内を散歩された様ですが、6人乗りで船頭二人が漕ぐ小型観光舟が出てきますが、大垣城の周辺なのか、墨俣城周辺なのか、がノンナレで判りません。墨俣城は織田信長の命令で、藤吉郎秀吉が一夜で築いた城との事ですが、昔は砦みたいな物だったでしょう。平成3年に観光で作られた城は見事な天守がありました。楽しい作品でした。

12) お寺のソングラン (BD)

森田光春 8分57秒

4月13日から3日間はタイの国のお正

月で、森田さんがお住まいのプーケットの隣のバンカー県の、あるお寺で行われたソングラン（水掛祭）を取材されました。7才から18才までの男の子53人が登場し年配者からお供えを頂戴し、毎朝一汁一菜の食事を今日は豪華に頂き喜びます。そしてペットボトルやコップの水を頭や法衣に掛けてもらいます。以前有名なチェンマイの豪華な水掛祭に参加して見たことはありますが、今回も珍しい行事を見せて頂きました。ありがとうございました。

13) 元祇園少年隊がゆく (BD)

高瀬辰雄 10分15秒

京都市中央区壬生の氏神、元祇園榎（ナギ）神社の神幸祭で市内を行進する”元祇園少年隊”をJR二条駅前の自宅二階の窓から見ていた高瀬さん、やおら少年隊に随行して三条、四条と歩いて嵐電の踏切を越えます。獅子舞の獅子の大きな口が幼い女の子を咬む仕草に泣き出す子など、3時間にも及ぶ笛、太鼓の演奏行進を描いておられます。この少年隊はやがて時代祭の維新勤皇隊へと進化してゆくそうです。古都京都の珍しい行事を見せて頂きました。

14) 紅葉の平等院 (BD)

赤澤與三郎 4分43秒

美しい紅葉の京都府宇治の平等院界限をデジカメで撮影してこられました。色は美しいのですが、特に紅葉のロング映像が解像度が今いちの様に見受けました。それとこの作品はやはり平等院が主体ですので、本体を後半にもってきて起承転結をつけられたら、もっと見ている人達の評価があがるのではないかと、思いました。

これで上映を終わり、何時もの様に居酒屋組と喫茶組に別れて2次会を楽しみました。